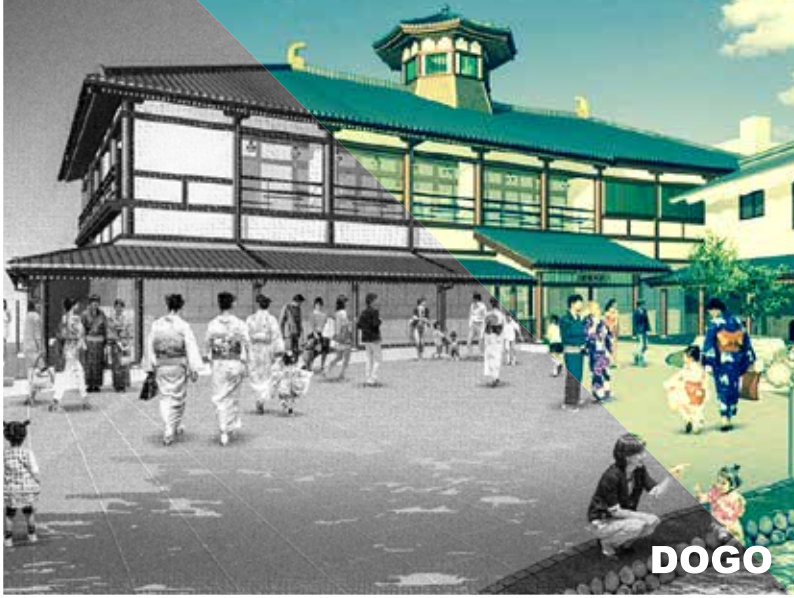


# 移動する建築

動くまちづくり拠点



## 都市設計コンペ

### テーマ「移動する建築」

愛媛県松山市では、今年、二つの都市空間が生まれ変わります。道後温泉別館・飛鳥乃湯泉建設事業では中庭と街路の一体的な空間が、花園町通りの道路空間再配分事業では街路自体が広場的な空間として誕生します。これら新たに生まれる広場と街路における賑わい空間づくりと、様々な市民活動を支援するための「移動する建築」を計画・設計、および、製作・マネジメントを指導・実践していただける若手の建築家・都市デザイナー・土木設計者を募集します。

「移動する建築」は、幅広い世代が心地よく集い、賑わいを生み出し、地域の新たな魅力を引き出すような、動くまちづくり拠点です。飲食や物販といった屋台のような機能のほか、地域の課題を解決し、空間の価値を高めるような機能をもつ「移動する建築」のデザイン提案をお待ちしています。

なお、入賞者2組は、デザイナーの南雲勝志氏の監修の下、道後温泉別館・飛鳥乃湯泉中庭と花園町通り歩道に設置する2つの「移動する建築」をデザインしていきます。各チームは、ワークショップに参加して地域の意見を聞いた上で、最終的なデザインを決定し、実施製作します。



応募締切 10月1日(日)

審査員長 羽藤 英二 (都市工学者 | 東京大学)

特別審査員 内藤 廣 (建築家)

審査員 南雲 勝志 (デザイナー)

五十嵐 太郎 (建築評論家 | 東北大学) ほか

都市設計コンペ

デザインWS

製作WS

お披露目  
& 運営開始

### スケジュール

▶都市設計コンペ(2017年8~10月)

一次審査:10月上旬

二次審査:10月29日(日)

▶デザインワークショップ(11月)

講師:羽藤英二

監修:南雲勝志

設計:コンペ優秀賞受賞者

参加者:地元子ども・住民・まちづくり団体

▶製作ワークショップ(12月)

上記同様

▶お披露目&運営開始(12月末)

## 提案内容

「移動する建築」を設計していくのにふさわしいデザイナーを2組募集します。人びとをつなぎ、地域の賑わいと地域経済の活性化をもたらす、空間の価値を高めるような「移動する建築」のデザインを自由に考えてください。

## 応募締切

10月1日(当日必着)

## 応募料

無料

## 応募資格

- 応募時点で39歳以下の個人またはグループ  
※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと。
- デザインワークショップと製作ワークショップを含む、「移動する建築」の製作プロセスに参加できること。

## 提出物

道後温泉別館・飛鳥乃湯泉あるいは花園町通りのどちらからを選択の上、下記書類を作成してください。応募点数に制限はありません。

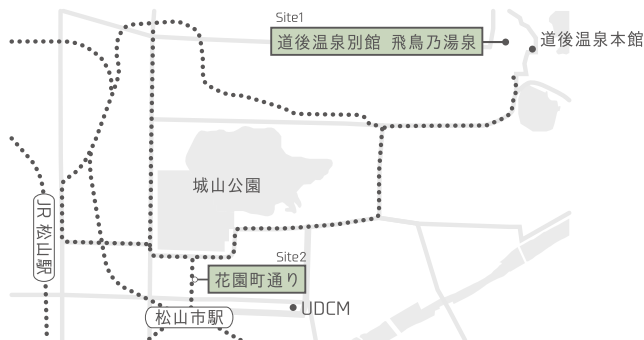
### 1. 応募用紙

・下記ホームページよりダウンロードして記入してください。

UDCM HP <http://udcm.jp>

### 2. プレゼンテーションシート

・A1 パネル1枚に、「移動する建築」のデザイン提案を自由に表現してください。指定のフォーマットはありません。



## 仕様

- 設計・製作費用：100万円以内
- 付属品含めて軽トラ（1800mm×1200mm程度）で運搬可能なもの。
- 組み立て式可。

## 賞

デザイン優秀賞：2点

・賞金5万円、ワークショップ等への参加報酬

## 提出先・お問合せ先

### 【提出先】

松山アーバンデザインセンター(UDCM)まで郵送により提出してください。  
〒790-0012 愛媛県松山市湊町3丁目7番地12

### 【お問合せ先】

UDCMに、電話またはメールにてお問い合わせください(担当:小野)。

Tel. 089-968-2921 E-mail. [udcm.matsuyama@gmail.com](mailto:udcm.matsuyama@gmail.com)

## 審査方法

### 【一次審査】

パネル審査を行います。審査結果は10月7日までにメールにて送付します。

### 【二次審査】

一次審査通過者5組による対面審査を10月29日に行います。旅費は各グループ1名分を支給します。

審査員長：羽藤英二(都市工学者|東京大学)

特別審査員：内藤廣(建築家)

審査員：松山市長、南雲勝志(デザイナー)、五十嵐太郎(建築評論家|東北大学)、寺尾保仁((公社)愛媛県建築士会会長)、新山富左衛門(道後温泉コンソーシアム代表者)、泉谷昇(花園まちづくりプロジェクト協議会理事長)、松波雄大(道後オンセナート2014・道後アート2015/2016地元統括責任者) (※予定)

## 製作条件

入賞者2組は、デザイナーの南雲勝志氏の監修の下、飛鳥乃湯泉中庭と花園町通り歩道に設置する2つの「移動する建築」をデザインしていきます。各チームは、地元の子どもたちを交えたワークショップに参加して地域の意見を聞いた上で、最終的なデザインを決定し、実施製作してもらいます。なお、関係者の意見のとりまとめ支援および実施製作作業の全面的な支援をUDCMが行います。

## 運営条件

地元のまちづくり団体などによる運営を行います。

## 留意点

- 応募作品は返却いたしません。
- 完成した制作物の著作権・所有権は主催者に帰属します。

## 夏のまちづくりワークショップ2017

夏のまちづくりワークショップ2017は、動くまちづくり拠点を設計・製作する若手デザイナーを全国から募集する「『移動する建築』都市設計コンペ」と、その活用アイデア提案を松山市民から募集する「『みんなのヒミツ基地』まちづくりアイデア募集」を同時開催し、下図に示す関係者の力を総結集して考案、製作し、実際に現地で運営を行うものです。

